

第七十五回 帝國議會 充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

特別委員會會議事速記録第五號

昭和十五年三月十三日(水曜日)午前十時十六分開會

○委員長(子爵西尾忠方君) 只今ヨリ會議ヲ開キマス、昨日本會議ニ於テ政府ヨリ上程セラレマシタ、政府出資特別會計法案、陸軍航空工廠資金特別會計法案、金資金特別會計法中改正法律案、竝ニ昭和十三年法律第二十三號中改正法律案ガ本委員會ニ併託セラレマシタ、就キマシテハ本日政府當局ヨリ御提案ノ理由ニ付テ此ノ機會ニ御說明ヲ願ヒタイト存ジマス

○政府委員(木村正義君) 本委員會ニ付託ニ相成リマシタ政府出資特別會計法案、外三件提出ノ理由ヲ御說明申上ゲマス、先ヅ政府出資特別會計法案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通り、特殊會社法等ニ基ク政府ノ出資ハ、近年頓ニ増加シ、其ノ現在額ハ一般會計所屬ノ分十億七千九百餘萬圓、特別會計所屬ノ分一億千百餘萬圓、其ノ中昭和十四年度末現在拂込豫定額ハ一般會計所屬ノ分八億三千五百餘萬圓、特別會計所屬ノ分七千七百餘萬圓デアリマシテ、相當巨額ニ上ツテ居リマスル處、此ノ際政府出資ノ性質等ニ顧ミマシテ特段ノ定メニ依リ他ノ特別會計ノ所屬ト致シマスルモノヲ除キ、他ハ總テ之ヲ統合シ、之ニ關スル歳入歳出ハ他ノ會計ト區分經理スルヲ適當ト認メタノデアリマスガ、之ガ爲ニハ特別會計ヲ設置スル必要ガアリマスノデ、本法

案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ陸軍航空工廠資金特別會計法案提出ノ理由ハ、近ク設置セラレマスル陸軍航空工廠等ニ於キマシテ、陸軍航空兵器ノ製造修理ノ專業ヲ經營致シマスル處、該專業ノ性質上之ニ要スル材料物品ヲ相當期間準備保有事ルノ必要ガアリマス爲、其ノ資本トシテ新クニ陸軍航空工廠資金ヲ置クコトトシタデアリマスガ、之ニ關スル歳入歳出ハ一般會計ト區分シ特別ニ經理スル必要ガアリマスノデ、特別會計設置ニ關スル本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ金資金特別會計法中改正法律案提出ノ理由ハ、現行ノ金資金特別會計法第三條ノ規定ニ依リマスレバ、金資金ハ總額五千萬圓ヲ限リ豫算ノ定ムル所ニ依リマシテ、之ヲ産金ノ増加ヲ圖ル爲、必要ナル費途ニ使用スルヲ得ルコトト相成ツテ居リマスル處、現下ノ時局ニ顧ミマスルニ、此ノ金額ノ限度ヲ擴張致シマスルト同時ニ、金資金ヲ使用シ得ル費途ノ範圍ヲ限リ豫算ノ定ムル所ニ依リマシテ、之ヲ産金ノ増加、及金ノ集中ヲ圖ル爲必要ナル費途ニ使用スルヲ得ルコトトシ、以テ産金ノ増加及金ノ集中ヲ促進シ、國際收支ノ改善ニ資スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ昭和十三年法律第二十三號中改正法律案提出ノ理由ハ現行ノ昭和十三年法律第二十三號第一條ノ規定ニ依リマシテ、關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府、及樺太廳ノ各特別會計ヨリ、其ノ租稅收入ノ一部ニ相當スル金額ヲ臨時軍事費特別會計ニ繰

入レルコトニ相成ツテ居リマスルモノノ外ニ、今回新クニ關東局特別會計ニ於ケル外貨債特別稅及揮發油稅、樺太廳特別會計ニ於ケル營業收益稅、酒造稅及資本利子稅ノ各昭和十五年度以降ノ増徴ニ因ル增收額ノ一部ニ相當スル金額ヲ、又朝鮮總督府、臺灣總督府、及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル特別法人稅、臺灣總督府特別會計ニ於ケル配當稅ノ各創設ニ因ル收入額ノ一部ニ相當スル金額ヲ毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ、臨時軍事費特別會計ニ繰入ル、コトト致シマシタル處、是ガ會計上ノ處理ニ關シマシテ、昭和十三年法律第二十三號中改正ノ必要ト致シマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、以上說明致シマシタル各法律案ニ付キマシテハ、何卒御審議ノ上速ニ御贊成アラムコトヲ希望スル次第デアリマス

○委員長(子爵西尾忠方君) 只今御說明ニナリマシタ法案、竝ニソレ以外ノ法案ニ付キマシテ御質問ヲ願ヒマス

○男爵大藏公望君 隨分澤山法案ガアリマスガ、ドノ問題デ御伺ヒシテモ宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵西尾忠方君) 御諮リ致シマスガ、之ヲ最初申上ゲマシタ通り分ケマスト、非常ニ制限サレテ、又次ニ移ルノニ却テ御面倒デスカラ、委員長トシテ少シ困リマスガ、一般ニ御質問ハドコデモ自由ニ御願ヒシタラドウカト思ヒマス、ソレカラ大願ヒシテモ御希望シテモオイデニナリマセ

○男爵大藏公望君 大野サンガ御見エデスカラ、其ノ都度便宜ナ時ニ御質問願フコトニシタラドウカト思ヒマス、ドウゾ其ノ御積リデ……

○政府委員(大野綠一君) 朝鮮ノ民心ノ狀況ト致シマシテハ、事變勃發以來ノ非常ニ於テハ餘程平靜ニナツテ居リマス、長期抗戰ト云フヤウナ情勢ニナツテ居リマスノデ、餘程冷靜ニナツテ居リマシテ、寧ろ極メテ張

ト安心ヲ有ツテ居ルト云フ狀況デアリマス、唯御承知ノヤウニ南部七道ノ非常ナ、先ヅ朝鮮ノ歴史デハ初メテノ早害デアリマシテ、之ガ食糧ノ手當ニ付キマシテ、或ハ事業ヲ興シテ之ニ對シテ貸銀ヲ與フル等々ナ方法ニ付キマシテハ非常ニ苦心ヲ致シテ先ヅ今日迄經過シテ參ッノデアリマス、唯ナカナカ非常ナ今迄ドツテカト申シマスルト事業、其ノ他ノ關係デ段々消費ガ殖エテ居リマスモノヲ急ニ壓縮致シマシテ、サウシテ出來得ル限リ内地ニ米ヲ供給シヨウト云フヤウナ關係上、隨分局部的ニハ米穀ノ配給ニ付テモ圓滑ヲ缺クヤウナ場合モ勿論

起テ居リマスルシ、今後モ非常ニ注意ヲシ
ナケレバナラヌト思フテ居リマス、只今迄ノ
情勢デハ先ヅドウナリコウナリヤツテ參シタ
ノデアリマス、唯我々ノ考デハ相當ノ雜穀
ヲ内地、及滿洲カラ入レマシテ、サウシテ
其ノ雜穀ノ消費ニ依ツテ米ヲ生ミ出シマシ
テ、其ノ米ヲ内地、或ハ又中央デ考ヘテ居
ル方ニ出スト云フ豫定ハ少ク其ノ手當ガ遲
レテ居リマスル爲ニ、餘儀ナク米ヲ消費ス
ルト云フ結果、自然豫定ノ計畫ガ段々ムツ
カシクナツテ來ルヤウナ情勢ニナツテ居リマ
スコトハ、是ハ甚ダ遺憾デアリマスガ、但
シ精神的ノ方面カラ申シマスルト、此ノ早
魅ニ對シマシテ當時長多クモ侍從ノ御差遣
ヲ仰ギ奉リ、又御内帑ノ賜金ヲ拜戴致シマ
シテ、朝鮮ノ官民非常ニ感激ヲ致シマシテ、
殊ニ朝鮮ノ旱害地方ニ於キマシテハ、從前
ノ旱害デアリマスレバ、所謂饑饉野ニ路ニ
横ハルト云フヤウナ情勢ニナルベキデア
ル、京城ナドノ古老ノ話ヲ聞キマシテモ、是位
ナ災害デアルト必ズ京城ニ段々押掛ケテ
ヤツテ來ル、サウシテ押借リトカ、或ハ居坐
リデ物ヲ呉レト云フヤウナコトガ起ル、
又各地ニ於テハ強盜トカ、或ハ小盜人ト云
フヤウナモノガ頻發スルノデアリマスガ、
ソレガナイノハ寧ロ不思議デア
フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、是ハ矢
張り各道、各面ニ於キマシテソレソレノ細胞
的ノ組織デ愛國班ト云フモノヤツテ居ル、
各道、又全鮮ノ精神總動員ノ聯盟ト云フモ
ノヲ拵ヘテ、ソレデ其ノ聯盟ガ固ヨリ國旗
ヲ遙拜スルトカ、各種ノ式日ヲ行フトカ云
フコトヲヤツテ居リマスルガ、實際運動トシ
テ矢張り節米ノ運動ヲスル、成ルベク雜穀
ヲ食ヘルヤウニ、斯ウ云フ情勢デア
ルカラ

餘リ包ミ隱サズニ朝鮮デハヤツテ居リマス、
京城ナドデモ、例ヘバ市場デ米ヲ賣リマス
ル場合ニ、一升ノ米ヲ賣リマスル時ニハ必
ラズ三合ノ麥、若シクハ粟ヲ附ケテ賣ル、
各地方共同ジヤウニヤツテ居リマス、唯遺憾
ナコトニハ、其ノ雜穀ガナカク手ニ入り兼
ネテ居ル、又最初ハ矢張り雜穀ノ公定價格
ヲ押ヘルコトガチヨット困難ナ經濟上事情
デアリマシタ爲ニ、所謂雜穀ト米トノ開キ
ガ非常ニ少カク爲ニ、米ノ消費ト云フモノ
ガ多少デハナク、可ナリ我々ノ最初ニ計畫
シテ居タヨリモ餘計ニナリマシタノデア
リマス、マア併シ兎モ角モ只今ノ所デハサ
シタルコトガナク濟ンデ居リマスルガ、是等
ノ色々々根本的ノ需給ノ關係等ニ付キマシ
テハ、更ニ十分考慮シナケレバナルマイト思
テ居リマシテ、關係ノ方面トモ打合セテ居
スルシ、又早急ノ問題ニ付キマシテハソレ
其ノ趣旨ヲ以チマシテ手當ヲ致シテ居
先ゾ全體ト致シマシテ申上ゲマスレバ、人
心ノ上ニ於テハ今ノ所左様ニ全般のニ心配
ハアリマセヌシ、又早急ニ付キマシテモ、
兎ニ角是ハ各道ニ諸種ノ施設ヲヤラセマシ
テ、サウシテ政府トシテハ豫備金責任支
出、又追加豫算等ニ依ツテヤリマシタノデ、
割合ニ手廻シガ地方ニ於キマシテモ早ク濟
ミマシタ爲ニ、其ノ點モ今迄ノ所ハ比較的
宜シイヤウニ考ヘテ居リマス、併シ今後は
カラ四、五ト、麥ノ刈取りガ六月半バ以後
ニナリマス、麥ハ幸ニ非常ニ裏作ヲ獎勵致
シマシタノデ、相當ノ天候サハ適順デア
リマスレバ收穫ガアル筈デアリマス、サウス
ルト一先ヅ米ノ穫レル迄安心出來ルノデハ
ナイカト考ヘテ居リマス、併シ油斷ナク只
今ヤツテ居リマスヤウナ次第デアリマス

○男爵大藏公望君 尙ニ點御伺ヒシタイノ
ハ、一ツハ例ノ北鮮ニ於ケル共產系ノ運動
ト、モウ一ツハ朝鮮ニ於テモ物資缺乏デ、
隨分閣相場モアリマセウシ、又其ノ爲ニ人
民モ困ツテ居ルヤウナ状態ガアリマセウガ、
朝鮮ニ於テ内地人ト朝鮮人ノ間於テ何カ
其ノ點ニ於テ時局認識ニ付テ、經濟上ニ現
ハレタ所ニ違ヒガアリマセウカ、其ノ二點
ヲチヨット伺ヒタイ

○政府委員(大野綠一 郎君) 若シ何デゴザ
イマシタラ速記ヲ御止メ下サイマスレバ……
○委員長(子爵西尾忠方君) 速記ヲ止メテ
〔速記中止〕

○委員長(子爵西尾忠方君) 速記ヲ始メテ
○子爵小路護君 朝鮮ニ於キマスル產金
ノ狀況ノ概略ヲ伺ヒタイノデス、尙金ガ海
外ヘ遁出スルト云フヤウナ噂モアリマスガ、
其ノコトモ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(大野綠一 郎君) 金ノ產出ノ豫
定計畫ハ豫テ申上ゲテ居ル譯デアリマスガ、
ドウモ少シ遅レマシテ、大イニ遺憾ニ存ジ
テ居リマス、其ノ理由ガ一般的ニ申シマス
ルト、必要ナル物資ノ供給、例ヘバ「セメ
ント」デアリマスルトカ、或ハ中空鋼デア
リマスルトカ、軌道デアルトカ、サウ云フ
風ナモノノ供給ガナカク思フヤウニ參リ
マセヌト云フヤウナコトモ主デアリマスル
ガ、一番矢張り大キナコトハ今年ノ早魅ガ
一番大キナ原因デアリマシテ、是ハ私共モ
左程迄ニ考ヘテ居ラナカッタノデスガ、「ド
レツチャー」ハ、殆ド雨ガ丁度插秧期ノ七八
月全ク降ラナカッタノデアリマシテ、其ノ爲
ニ「ドレツチャー」ノ金ト砂ヲ洗フ、其ノ泥
ガ非常ニ粘著シタ泥ニナツテシマヒマシテ、
結局私共ハ實地ニ參リマシテ、丁度三菱ノ

金堤ノ「ドレツチャー」ナドモ見マシタノデ
スガ、チヨット操作ヲヤツテ見マシタ處ガ、
矢張り良クテ六割位シカ歩止リガナイ、十
取レルモノガ六割位シカ取レナイ、後ハ皆
泥ト一緒ニナツテ流レテシマフ、從ヒマシテ
ドウモ動カセナイ、斯ウ云フヤウナ譯デ數
箇月休ンデ居リマシタ、併シ私共ハ「ドレ
ツチャー」ダケト思ツテ居タノデスガ、生産額
ニ現ハレタ模様カラ、段々調べテ見マシタ處
ガ、山元ニ於ケル詰リ鑛山ノ方ノ選鑛ノ水
ガ非常ニ不足致シマシテ、幸ニ先月ノ二十
三日ニ雨ガ降りマシテ、是ハ先申シマシタ
麥ナドニモ非常ナ好影響ヲ齎シタノデア
リマスガ、ソレデ餘程水位ガ高マツテ參リマ
シテ、先ヅソレデモ普通ノ時ノ水ノ量ニハ
マダ達シナイノデアリマス、サウ云フヤウ
ナコトガ非常ニ産金ノ上ニ支障ヲ來シテ居
リマス、一般的ニ金ノ買上ノ方法トカ、或ハ
獎勵ノ方法トカ云フコトニ付キマシテハ、
是ハ中央トモ聯絡ヲ致シマシテ色々現地ノ
狀況ヲ申上ゲテ考究ヲ願ツテ居リマス、何レ
何カ相當ノ方法ガ考ヘラレルコトト思フテ
居リマスガ、マア色々ナ事情ガ錯綜致シマシ
テ、昨年ハ豫想ヨリ非常ニ遅レテ居リマス、數
字ハチヨット御遠慮申上ゲマスガ、マア今年
ニナリマスレバ、天候ガ適宜デアリマシテ、相
當物資ガ段々廻ツテ參リマスレバ餘程良クナ
ルノデハナイカト考ヘテ居リマス、打明ケ
タ處豫定ノ先ヅ一年位遅レルノデハナイカ
ト云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ金ノ
流出ノ問題デアリマスルガ、是ハ隨分國境
ニ於テ嚴重ナ取締ヲ致シテ居ルノデアリマ
スガ、何分滿洲國ニ於テ價格ガ可ナリ騰ツテ
居リマスル關係上、矢張りサウ云フ事實ガ
澤山擧ツテ參リマス、是ハマア今ノ根本的ノ

問題ニ付テ考慮ヲシテ戴クヨリ根本ノ法案ハナイノデアリマス、蓋當ツテハ其ノ關係ノ警察ナリ、税關ノ組織ヲ嚴重ニ致シマシテ、サウシテ密告スル者ニハ或程度ノ賞與ヲ與ヘルト云フヤウナヤリ方ヲ致シマシテ、段々計數ガ擧ツテ參リマス、只今チヨット此處ニ計數ヲ明カニ致シテ居リマセヌガ、隨分色々ナ方法ヲ以チマシテ持チ出ス者ガ多クイノデアリマス、併シ非常ニ大量ニ出テ行クトモ考ヘテ居リマセヌ、非常ニサウ云フ嚴重ノ中ヲ灣テ出ス譯デアリマスカラ、唯左様ナ譯デ、幾ラカ一方ニ於テハ抄々シク産金ガ動イテ行カナイト云フコトニ付テノ對策ヲシナケレバナラヌシ、又一方ニ於キマシテハ其ノ取締ヲ十分ニシテ居ルト云フヤウナ狀況ニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵綾小路護君 勞力ハ下ウデゴザイマスカ

○政府委員(大野綠一) 勞力ノ方モサウ裕リガアルトハ申兼ネマスガ、是ハ内地ナドト比較致シマスレバ何ト云フモ樂デゴザイマス、殊ニ南ノ方ノ砂金地帯ナドデハ是ハ手掘デ以テ、丁度救濟ニモナリマスルノデ、人々ヲ使ッテ居ルヤウナ狀況デアリマス、先ツ勞力ノ方ハサウ重大ナル懸念ハナイヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○男爵東郷安君 チヨットソレニ關聯シテ

勞力ノ問題デスガ、只今ノ御答辯ハ金ニ關スル勞力ノ實況ノヤウニ伺ヒマシタ、私ハサウ云フ意味デナク朝鮮ノ内地ヘ流出スル移民問題、ソレカラ北、滿洲國方面ニ行ク問題、其ノ大體ノ動向ヲ伺ヒタイノデス

○政府委員(大野綠一) 馬ア全般的ニ

申セバ内地ノヤウニ壯丁ガ從軍ヲ致スト云フヤウナコトガゴザイマセヌノデ、其ノ點

ハ先ツ第一ニ餘程樂ナ理由ニハナリマス、唯主トシテ人口ノ稠密ナル方面ハ朝鮮ノ丁度早魁ノアツタ方面デゴザイマス、此ノ方向カラ此ノ北鮮方面ニ於テ可ナリ色々ノ事業ガ起ツテ居リマスルノデ、此ノ方面ニ隨分ノ移動ガ行ハレテ居リマス、ソレカラ或程度ノ、殊ニ例ヘバ全羅北道ト云フヤウナ方ニナリマスルト、是ハ耕地面積ナドモ非常ニ少ナクテ小作人ガ非常ニ多イノデアリマス、是等ノ所デハ矢張り全般的ニ見マスルト、ドツチカト申スト過剩ニ屬スル部分デゴザイマシテ、所ニ依ツテ違フ譯デアリマス、ソレデ先ツ今迄……確カ昨年ノ十一月ノ終ニ調べタ調査デ一萬八千カラ九千ノ人々ガ内地ニ參ツテ居ル等デアリマスルガ、是以上多量ニ今直グニ出スト云フコトニナリマスルト、

丁度麥作ノ關係ト、或ハ春ノ稻作ト云フヤウナ關係ガアリマスルノデ、ソレ等ノ點ヲ計ツテ或程度ノ量ノ人ハ出シ得ルト考ヘテ居リマスルガ、是ハ今企畫院等モ能ク連絡ヲ致シテ居リマス、ドウモ全般的ノ計數カラ申セバ、不足ハ致シテ居ラナイ筈デアリマスルガ、一ツノ專業ニナリマスルト、例ヘバ朝鮮デハ炭礦ノ仕事ヲ非常ニ嫌フノデアリマス、ソレハドウ云フ譯カト申シマスト、申ヘ入ッテ白イ著物ガ黒クナルノデアリマスカラ、ソレデ非常ニ嫌フ、ソレデ一部分滿人ヲ極ク少數デアリマスガ、入レマシテ、ソレガ非常ニ勤勉ナルヤリ方ヲシテ炭礦労働者トシテ能率ヲ擧ゲテ居ルノヲ見ルト、ソレデヤ一緒ニヤラウト云フノデ、ソコハ却テ内藤氏ノヤツテ居ル三陟ノ炭田ノ如キハ其ノ爲ニ却テ能率モ擧ツタヤウナ所モアリマス、併シ大體炭礦ノ労働ナドハ朝鮮ニ於テ喜ンデヤラナイ、ソレカラ労働

種類ニ依ツテハ非常ニ豊カナノモアル譯デアリマス、全般的ニハマダ多少餘力ハアルト思ツテ居リマスガ、其ノ時ト場所ト云フヤウナコトニ付テハ餘程一層ノ計畫ヲ立テル必要ガアルト思ツテ居リマス、只今企畫院等トモ關係ノ者ガ能ク連絡ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○男爵東郷安君 北へ滿洲國ノ方面へハ如何デアリマスカ

○政府委員(大野綠一) 滿洲國ノ方ヘモ相當出テ居リマス、是ハ御承知ノアノ鮮滿拓殖會社ト云フノガゴザイマス、丁度滿洲拓殖會社ト同ジヤウナ性質ノモノデアリマスガ、是デ矢張り七千戸位ノモノガ毎年行ツテ居リマス、大凡一萬戸位ト云フコトデ滿洲國トノ話ハ出來テ居リマスガ、先ツ七千戸ト御承知ヲ願ツテ置ケバ結構ダト思ツテ居リマスガ、是等ガ只今申上ガマシタ人口ノ極メテ多イ、所謂過少農ノ所カラ出テ居リマス

○男爵東郷安君 ソレニ關聯シテ伺ヒマス

ガ、内地カラ朝鮮ヘノ内地人ノ移住ノ最近ノ動向ハドウデゴザイマスカ

○政府委員(大野綠一) 内地カラ朝鮮

ニ參リマスル移住、詰リ内地人ノ朝鮮ニ參ルハ主トシテ何ト申シマスカ、技術トカ、或ハ會社ノ業務ニ關係スルトカ、サウ云フ者ガ主デゴザイマス、從前東拓ニ於テ御承知ノヤウニ甲種移民トカ、乙種移民トカ云フヤウナヤリ方ヲヤツテ居リマシテ、ソレハ色々ノ議論ガアリマシテ結局廢メニナリマシテ、詰リ農業ノ移民ト云フモノハ一先ヅ朝鮮デハ其ノ餘地ガナイト云フコトニナツタ譯デアリマス、但シ新シク開墾、或ハ干拓等ニ依ツテ新シキ土地ヲ得タ場合ニ内

地ノ人ガソレニ行ク、例ヘバ富士農場ノ如キ、是ハ各府縣カラ相當優秀ナ農民ヲ入レテ、サウシテ干拓地ニ於テ落付テヤツテ居リマス、相當年所ヲ經マシタノデ、或ハ鹽抜キノ方法、或ハ耕種ノ方法トカト云フモノガ非常ニ進ンデ參リマシテ、今日デハ非常ニヨク落付イテ居リマス、併シ是ハ大量ニ農民ヲ入レルト云フヤウナ餘地ハ先ツナイヤウニ考ヘテ居リマス、是ハ統治上モサウ簡單ニハ行キニクイコトダト考ヘテ居リマス

○男爵大藏公望君 一ツ其ノ外ニ伺ツテ、後

ハ他ノ政府委員ニ伺ツテ結構デゴザイマス、先ツ伺ヒタイノハ朝鮮ノ人口ノ増加ノ狀況デスガ、是ハ或ハ拓務大臣ニ御伺ヒスル問題ニ關聯スルト思ヒマスガ、朝鮮ノ人口ハ相當ナ勢ヲ以テ殖エテ居リハシナイカ、殖エツ、アルヤウニ思ヒマス、内地ノ方ガ減ツテ來ルニ反シテ、朝鮮ハ非常ナ勢デ殖エテ居ルト云フ風ニ承知シテ居リマス、何カサウ云フコトニ關シテ御調ガアリマセウカ、或ハ總監ヲ煩ハサナイデモ他ノ政府委員デモ結構デゴザイマス

○政府委員(大野綠一) 御承知ノヤウ

ニ併合當時ハ千三百萬デゴザイマシタガ、只今ハ二千三百萬ノ狀況デゴザイマシテ、確リシタ數字ハ後程調べマシテ申上ゲルノガ適當ト思ヒマスガ、人口ノ増加率ハ確方ニ百分ノ十五位ニナツテ居リマシテ、内地ヨリ遙カニ上デゴザイマス、是ハ矢張り段々統治ノ惠澤ニ浴シマシテ、衛生ノ狀態モ良クナリマスシ、生活ノ狀態モ良クナツテ參リマシタ關係デアリマシテ、マア外國ノ「イン」トカ「フイリッピン」等ノ數字等ニ比ベマスト、正確ナ數字ハ持ツテ居リマセヌガ、著

シイ違ヒデアリマシテ、日本ノ統治ニ依ッテ非常ニ人口ノ増加ガ今迄ナカッタ増加ノ狀況デアリマス

○男爵大藏公望君 後ハ總監ヲ煩サナイデモ、他ノ政府委員ニ伺ッテ結構デスガ、四ツバカリチヨット伺ヒタイト思ヒマス、何レモ此ノ法案ニ關係アル問題デスガ、送電施設ニ關シテ先般ノ早害ガドシテ影響ヲ與ヘタカ、内地ハ隨分電氣ニ困リマシタガ、朝鮮ノ方ハ隨分徹底シタ政策ニ依ッテ今日迄非常ニ良イ成績ヲ擧ゲテ居ラレルヤウニ思ヒマスガ、ソレガドシテ影響ヲ與ヘタカト云フコト、第二ハ港灣ニ關シテ鴨綠江ノ河口ノ問題デスガ、多獅島ナリ、若シクハ其ノ附近ニ於テ確カ先年滿洲トノ間ニ非常ニ大キナ工業地帯ノ計畫ガオアリデシタガ、如何ニ進捗シテ居ルカト云フ問題、第三ニハ昨年ノ議會デアリマシタカニ通ッテ釜山カラ京城ニ參リマス中央ヲ通ル線路ガドシテ程度進捗シテ居リマスカ、第四ハ朝鮮ノ私設鐵道ハ何レモ政府ノ鐵道ノ代行ト云フコトデ、買收スルト云フコトガ、年々議會デ御返事ガアルノデスケレドモ、段々交通統制ノヤカマシイ折柄デアリマスノデ、當然幹線ニナルベキモノハ速カニ買收サレルノガ當然ト思ヒマスガ、今度政府ニ於キマシテ出ルノカト思ッテ居リマシタガ、出テ居リマセスガ、ドウ云フ事情ガゴザイマセウカ、此ノ四ツノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

テ水力ニ致シテ居リマス、從ッテ恰度仕合セノコトニハ南ノ方ガ早魁デアリマシタ爲ニ、水力ノ不足ト云フモノハ何等影響ハゴザイマセスデシタ、恰度一昨年ニ咸鏡北道ニ於テ非常ナ大水害ガアリマシテ、可ナリ莫大ナ損害ヲ水害ニ依ッテ被ッタノデアリマシテ、併シ逆ニ申シマス、其ノ爲ニ今迄長津江、赴戰江合セテ七十萬「キロ」貯水池ニ全ク初メテ滿水致シタヤウナ次第デアリマシテ、此處七八年ノ間ハ普通ニ雨ガ降レバ先ヅ心配ナイト云フヤウナ情勢デアリマシテ、其ノ點ハ内地ト事情ガ餘程違ッテ居リマス、尤モ南鮮ノ火力發電ノ石炭ノ採掘等ニ付キマシテ色々思フヤウニ行カスノコトガアリマシテ、一時懸念シタコトモアリマシタガ、實際ニ於テハ殆ドソナナ障礙ナシニ進ンデ參リマシタ、ソレカラ其ノ次ハ多獅島ノ修築デアリマスガ、是モ段々進捗致シマシテ、今日デハ餘程其ノ體ヲ成シテ參リマシタノデアリマス、之ニ伴フ工業地帯モ恰度左様ナ趣旨ヲ以テ造リマシタ都市計畫委員會ト云フモノガアリマシテ、其ノ方ニ協議ヲ致シマシテ、可ナリ廣大ナ區劃ヲ多獅島、及新義洲ノ間ニ指定ヲ致シマシテ、既ニ其ノ中、例ヘバ三井ノ製煉所ノ如キ、モウ直キニ確カ工場ガ完成スルヤウナ狀況ニナッテ居リマス、是ハ先ヅ豫定通り進行シテ居ルト申上ゲテ差支ナイト思ッテ居リマス、ソレカラ中央線ノ模様ニ付キマシテハ他ノ政府委員カラ申上ゲマスガ、私鐵買收ノ問題ハ、是ハ御示ノ通り、朝鮮ノ私設鐵道ハ、矢張り國鐵ニ代ハルモノトシテ、財政ノ許ス限リ速カニ之ヲ買收シ、國營線トシテ經營スルト云フ考ニハ少シモ變リハゴザイマセヌガ、本年ハ御承知ノヤウニ幹線ノ全部ノ復

線化、其ノ他或ハ三防方面ノ電化トカ、諸種ノ可ナリノ事業ニ要スル二億二千六百萬元程ノ公債ヲ、其ノ御協賛ヲ仰グ意味ニ於テ出シテ居リマス、左様ナ關係デ等シク公債デハゴザイマスガ、先ヅ本年ハ之ヲ差控ヘルノガ宜シカラウト云フ意味ヲ以チマシテ控ヘテ居ル譯デアリマス、但シ昨年御協賛ヲ仰キマシタ安東、及金泉ノ間ノ鐵道ハ既ニ買收ヲ終リマシテ、國營鐵道トシテ經營ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○政府委員(水田直昌君) 昭和十一年ノ議會デ御協賛ヲ得マシタ所謂中央線ト申シマス路線ノ狀況ニ付テ申上ゲマス、昭和十一年ノ計畫ト致シマシテハ、昭和十五年度ニ完成ヲスルト云フ豫定デアリマシタガ、種々ノ事情デ一箇年間延長致シマシテ、昭和十六年度ニハ完成スル豫定デ進ンデ居リマス、デ昭和十四年現在ノ年度ノ工事ハ二月十五日現在デ大體九割六分程度竣工シテ居リマス、デ全體ト致シマシテ土工ノ方ハ八割迄進捗致シテ居リマス、大體昭和十四年度中ニ全線凡ソ三百六十軒前後デアリマスガ、二百軒前後ハ開通スル豫定ヲ以チマシテ、大體所定ノ年度内ニハ全線ニ互ッテ營業ヲ開始シ得ル見込デ進行中デアリマス

○委員長(子爵西尾忠方君) 拓務大臣ガオイデニナリマシタカラ、大臣ニ對スル御質疑ヲ此ノ機會ニ御願ヒ致シマス

抱負ニ於テ、斯ウ云フ風ナ締治方針ニ更ニ進ムノダト云フヤウナ御考ガアリマスルナラバ伺ヒタイ、是ガ第一デアリマス、第二點ハ今總監ニ御伺ヒシタノデスガ、朝鮮ノ人口ノ増加ハ非常ニ多クアリマス、内地ノ人口ノ増加狀況ガ非常ニ心配サレルニ反シテ、朝鮮ノ方ハ日本ノ國內ニ於テモ特ニ増加ガ大キイ、結局朝鮮内ニ於キマシテモ、又ハ滿洲ニ參リマシテモ、朝鮮ノ人口ノ増加ト云フモノガ日本ノ人口ノ増加現象ト較ベマシテ將來ニ於テ色々ナ問題ヲ起スノチヤナイカ、之ヲ考ヘマス、無論朝鮮ノ方ハ益々人口ノ増加シナケレバナリマセヌガ、内地ノ人口ノ増加ニ付テモ餘程考ヘナケレバナラヌシ、同時ニ又朝鮮ナリ、滿洲ナリヘ送ル内地人ノ數ニ付テモ、從來ヨリハ更ニ積極ノ方法ヲ考ヘナケレバナラヌノデヤナイカト云フコトガ考ヘラレマス、例ヘバ滿洲ニシマシテモ、今御豫定ハ二十年間ニ百萬戸五百萬人ト云フ御豫定デスガ、昨今ノ情勢ニ見マスルト、滿洲人ノ増加ノ情勢モ、滿洲ガ段々良クナッテ參リマスニ連レテ非常ナ勢ヲ示シテ居リマス、朝鮮人モ同様デアリマシテ、結局一番内地人、大和民族ノ殖エ方ガ足リナイ、數ニ於テ壓迫サレル狀況ニナリツ、アルコトヲ私ハ心配スルノデアリマス、内地ノ方ニ於テモ勿論デスガ、外地及ビ滿洲方面ニ對シテモ一層積極的ニ大和民族ノ移動ヲ考ヘヌト、日本ノ將來ニ於テ相當ノ心配スベキ状態ニナリハシナイカト云フコトガ考ヘラレマスルガ、拓務大臣ハ如何ニ御考ニナリマスカ、此ノ二點ヲ御伺ヒ致シマス

○國務大臣(小磯國昭君) 第一點、即チ事變勃發後朝鮮及臺灣ニ於テ、施設上特別ニ

考慮施設シタ所ハドウカト云フ御問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、當初臺灣及ビ朝鮮等ニ於テハ、支那事變ト云フモノガ或ハ短期間ニ濟ムノデヤナカラウカト云フヤウナ風ニ考ヘテ居タヤウデゴザイマス、併シ其ノ後逐次擴大シ、而モ相當長期ニ互ルノデヤアルマイカト云フヤウナ傾向ニナツテ參リマシタノデ、特ニ外地トシテ苦慮致シマシタノハ、是ハ申ス迄モナク、御承知デモゴザイマセウガ、此ノ内外一體、更ニ詳シク言ヘバ内鮮一體、内臺一體ト云フ所ノ精神的結束ヲ高メテ、サウシテ朝鮮ニ於テハ朝鮮人ソレ自體ヲ成ルベク速ニ而モ非常ナ力ヲ注イデ、本當ノ日本人ニシテ行カウ、ソレカラ臺灣ニ於キマシテハ豫テヤリツ、アリマシタ島民ノ皇民化運動ト云フコトニ更ニ拍車ヲ掛ケヨウト云フコトデ、兩地トモ非常ニ努力中デゴザイマス、此ノ努力ヲ具現致シマスル爲ニハ、教學ノ刷新モヤツテ居リマス、内地デヤツテ居リマス國民精神總動員ノ趣旨ニ基キマシテ、兩地トモ爲シ得ル限リ地方ニ細胞ヲ植エルト云フ處置ヲ講ジテモ、此ノ目的ヲ達成シテ行カウト云フコトデ努力中デアリマス、私共ノ信ズル處ヲ以テシマスレバ、最近此ノ效果ハ大ナルモノガアルト思ヒマス、就中事變ノ進展ニ伴ヒ、皇軍ガ到ル處戰捷ヲ博シツ、アリ、戰敗國民トシテノ慘メサヲ能ク承知シ來リマスル朝鮮、及臺灣ノ住民ハ、一層此ノ日本ノ統治下ニアル惠ト云フモノヲ自覺スルコトニ依ツテ、更ニ一層内外間ノ精神的結束、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、眞ノ日本人ニナツテコソ始メテ福祉ヲ増進シ得ルノダト云フ氣分ガ濃厚化シテ居ルト云フコトハ隠レナキ事實ト考ヘテ居リマス、以上ハ精神的ノ問題デアリマ

ス、次ハ物的ノ問題デアリマスガ、物的問題ト致シマシテ特ニ茲ニ申上ゲ得マスコトハ、内地ニ於テ事變以後實行ニ邁進シテ居リマスル生産力ノ擴充、是ガ主ナルモノダラウト考ヘテ居リマス、其ノ目標トスル所ハ、大體國防産業ヲ中核トスル基礎産業中、最モ緊要ナルモノカラ著手ヲシテ行カウト云フ著想ノ下ニ朝鮮及臺灣トモ、其ノ土地特殊ノ色彩トシテ持ツテ居リマスル特産物ノ改良増産ト云フヤウナコトニ邁進シツ、アリマス、大體其ノ外特ニ貿易ノ關係ニ鑑ミマシテ、金ノ増産ニ努メテ居リマスガ、金ノ増産ハ豫期シタ通りニ私進シテ居ラヌト思ヒマス、ガ併シ今後トモ成ルベク之ニ力ヲ入レテ増産ヲ圖リタイト思ヒテ居リマス、併シ他ノ此ノ生産力擴充方面ノ考慮ニ基イテヤツテ居リマスル前段申シマシタ仕事ハ概ネ順調ニ進ンデ居リマス、唯茲ニ一點申上ゲテ置キタイト思ヒマスコトハ、是ハ泣キ言フ譯デヤゴザイマセウガ、ドウモ舊來カラ動モシマスルト、外地ハ第二義的ニ考ヘラレマス結果、生産力擴充ニ要シマスル就中資材ノ配給デアリマス、是ガドウモ餘リ十分デアリマセヌノデ、現地當局非常ニ焦慮シテ居リマスルガ、拓務省ト能ク協力致シマシテ關係各省ニ聯繫交渉ノ上、其ノ配給ノ十分ナルムコトヲ努メツ、アルヤウナ次第デゴザイマス、第二ノ御質問ノ人口問題デゴザイマス、此ノ點ニ付テハ私モ御説ノ通りデアルト考ヘテ居リマス、内地同胞ノ人口増殖率ニ比較致シマシテ、確實ナ數字ハ茲ニ記憶シテ居リマセヌガ、朝鮮ニセヨ、臺灣ニセヨ、滿洲ニシロ、其ノ率ハ高イト考ヘマス、サウシテ朝鮮臺灣ニ於テハ、第一御質問ニ對スル御答辯申上ゲマシタ如ク、一

日モ速カニ此ノ内外一體ノ境地ニ持ツテ行キタイト云フ考カラ言ヒマスレバ、朝鮮臺灣兩地ニ居リマスル内地同胞ノ健全ニシテ、サウシテ人口増加率ノ多イコトヲ希望スルノハ勿論、滿洲ニ於テハ五族協和ノ中核トシテ日本同胞ガ進ンデ行カネバナラヌト云フ立場カラ、是亦送出スル、サウシテ増加率ノ多イコトヲ希望シテ居ル譯デアリマス、唯朝鮮臺灣ニ付テ見マスルト、御承知ノ如ク所ニ依ツテモ違ヒマスガ、場所ニ依ツテハ相當人口ガ稠密デゴザイマシテ、就中南鮮地帯ニ於ケル所ノ人口密度ハ殆ド内地ニ讓ラザル状態ニ在リマス、云フヤウナ關係カラ致シマシテ、朝鮮臺灣ニハ内地ノ人ヲ餘リ多ク送り得ル餘地ハナイト考ヘテ居リマス、幸ヒ朝鮮ハ民族ノ系統ヲ同ジウスル關係デモゴザイマセウカ、内地化ト云フ色彩ハ非常ニ濃厚デアリマス、就中滿洲事變及支那事變ヲ一ツノ契機ト致シマシテ、特ニ其ノ色彩ハ濃厚ニナツテ來テ居リマス、從ツテ朝鮮ニ對スル内地同胞ノ移動ト云フコトハ、大體ニ於テ自然ノ趨勢ニ委シテ置イテ宜イノデヤナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、臺灣ニ對シテハ數ハ極ク僅カデハゴザイマスルガ、永年計畫ニ基キ若干ツツノ内地同胞ヲ向フニ移住シテ貰フコトニ計畫ヲ樹テマシテ實行中デゴザイマス、滿洲ニ對スル開拓農民並ニ青少年義勇軍ノ送出ニ付テハ詳細既ニ御承知ノ通りデゴザイマスルガ、段々先刻御質問シテ御申述ニナリマシタヤウナ御趣旨ニ基キ、内地ニ於ケル努力關係ガ相當逼迫シテ居ルヤウナ事態ニモ直面シテ居ルモノト考ヘマスケレドモ、矢張り此ノ滿洲ニ對スル日本同胞ノ送出ガ必要デアルト云フ國策ノ指標ニ基キマ

シテ、是ハ大ナル無理ヲ内地ニ掛ケナイ限り、是非計畫通り實行シテ行キタイト云フヤウナ考デ努力中デアリマス、唯體力管理法トカ、將來此ノ同胞ノ健康保持ト人口増加率ノ向上ト云フコトニ付キマシテハ、色々外地統治上、在來ノ住民ト内地カラ移動シテ行ツタ者ガアルト云フヤウナ關係カラ、之ヲ實行スル上ニ於テハ、相當注意ヲ拂ヒ、調節ヲ加ヘテ行カネバナラヌモノトハ考ヘテ居リマスルガ、何等カ外地方面ニ於テモ適當ナル方法ヲ考究シテ見タイト云フ風ニ考ヘテ居ル譯デゴザイマス、ドウゾ御了承ヲ願ヒマス

○男爵大藏公望君 非常ニハッキリシタ御答辯デ誠ニ感謝ニ堪ヘマセヌガ、是ハ此ノ法案ニ關係ナイノデスガ、チヨット今ノ滿洲開拓拓民ノコトニ付テ、成ル程今ノ御話ノ通りニ現在ノ情勢ニ於テハ多數ノ内地人ヲ送出スルコトハムツカシイガ、此ノ景氣ト云フモノハ必ズシモ永ク續クモノデハナク、聽テ二三年後或ハ數年後ニハ、又必ズ内地ノ人ガ餘ルノデハナイカト斯ウ思フノデス、先般モ百萬戸送出計畫ヲ立テラレタ時分ニハ、隨分大キナ計畫ダト云フ風ニ考ヘラレマシタノガ、ドウモ其ノ後ノ情勢ヲ見ルト非常ニ規模ガ小サクテ、百萬戸ドコロデハナイ、ドウシテモ政府トシテハモット一層此ノ東亞新秩序建設ノ立場カラ云フト、大和民族ノ大陸進出ノ重要性ガ増シタ點ニ鑑ミ、モット積極的ノ案ヲ御立テニナルコトガ必要ニナツテ來タノデハナイカト、斯ウ考ヘマスノデゴザイマス、從ツテ此ノ問題ニ關シテモ是非拓務大臣ノ十分テ御盡力ヲ得タイト考ヘルノデ、別段ニ御答辯ハ要リマセヌガ、今日ノ計畫ヲ以テ直チ

ニ實行出來ナイカラアノ程度デ十分ダト御考ニナラズニ、今日直グ實行シナクテモ、日本國家ノ計畫トシテモ、モット一層大規模ナル計畫ヲ御立デニナルト云フコトニ御邁進アラムコトヲ希望スルノデアリマス、是ハ御答辯ハ要リマセヌガ、ドウカ十分御含ミ置キテ願ヒマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○委員長(子爵西尾忠方君) 何か此ノ際拓務大臣ニ付テ御質疑ガゴザイマスレバ、御續ケ願ヒタイト思ヒマス

○男爵大藏公望君 私人拓務大臣デナクテ、臺灣ノ總務長官ニ伺ヒタイノデアリマス、宜シケレバ……

○委員長(子爵西尾忠方君) ツレデハ大藏男爵

○男爵大藏公望君 先程朝鮮ノ民心ノ狀況ニ付テ詳シク政務總監カラ伺ヒ、又朝鮮内ニ於ケル經濟ノ現狀ニ關シテ意嚮ト、鮮民ノ云フコトニ關シテ伺ヒマシタガ、臺灣ニ對シテモ同様ノ御説明ヲ得タイト思ヒマス

○政府委員(森岡二朗君) 大體、只今ノ御質疑ハ、極ク大マカニ申上ゲマスレバ、時局下ノ臺灣ノ狀況ト云フコトヲ申上ゲルコトニ相成ルカト思ヒマス、御承知ノ通り、領臺四十有五年ニ相成ル譯デアリマスガ、殊ニ此ノ度ノ事變方起リマシテ二年有七八箇月ニ相成ル譯デアリマスガ、事變後二年有餘ノ間、幸ニモ平靜ニ推移シテ參リマシタルノミナラズ、本島人ガ日本人トシテ、忠良ナル臣民トシテ各方面ニ御奉公申上ゲテ居リマスルコトハ、固ヨリ歷朝ノ賜リマシタル御恩澤ノ賜デアリマスルコトハ申ス迄モナイ所デアリマスルガ、又歴代總督首メ各方面ノ方々ノ御努力ノ結果ガ今日此ノ成

果ヲ見タコトト存ジマス、殊ニ此ノ事變ニ依リマシテ、本島人ガ日本人デアルト云フコト、日本人デナケレバナラナイト云フコトノ意識ガ更ニ鮮明ニナツテ參リマシタ、即チ皇軍ノ事變ニ對スル成果ガ、本島人ヲシテ更ニ一層日本人ニナラシメタト云フコトハ申上ゲルコトガ出來ルト思フノデアリマス、事變當初、色々無智蒙昧ナ者ノ中ニハ、無教育ノ者ノ中ニハ色々ノ流言蜚語等ガアリマシタノデアリマスルガ、併シ今日ニ於キマシテハ、明カニ事變ニ對スル認識ヲ深メテ參リマシテ、殆ド流言蜚語等モゴザイマセヌ、唯十二年ノ七月ヨリ十三年ノ極ク當初ニ掛ケマシテ、色々無智蒙昧ナル者、無教育ナ者ノ、流言蜚語ニ惑ハサレ、或ハ又或種ノ團體ニ依ル後方攪亂ノヤウナ事柄ガナイデハナカッタノデアリマスルガ……委員長、チヨット速記ヲ……

○委員長(子爵西尾忠方君) 速記ヲ止メテ……

○政府委員(森岡二朗君) 是等ノ事情ハ十二年ノ事變後、ソレカラ十二年ト、十三年ノ極ク初メ迄ニアツタ事件デアリマシテ、ソレノ十二年中ニ、若シクハ十三年ニナリマシテカラ檢舉致シマシタノデアリマシテ、其ノ後ニ於キマシテハ斯ウ云フ風ナ事件ハモウ全然跡ヲ絶ツテ居リマス、流言蜚語ノ狀況ヲ申上ゲマスレバ、事變方起リマシタ十二年ノ七月カラ十二月迄ノ半年間ニ、千百何十件ト云フヤウナ流言蜚語、是ハ事件ニ關係スル流言蜚語デアリマスルガ、ソレガ檢舉サレテ居リマスルガ、ソレガ十三年ニ

於キマシテハ一年間ニ六百件位ニナツテ居リマシテ、餘程數ハ減ジテ來テ居ルヤウナ状態デアリマス、事變ノ進ムニ連レマシテ、事變ニ對シテノ認識ガ益、深メラレマスルト共ニ、又日本帝國ニ對スル信頼ガ愈、厚キヲ加ヘテ參リマシタノデアリマスルガ、御承知ノ通り今回ノ事變ニ於テ臺灣軍ガソレゾレ戰地ニ出動シタノデアリマスガ、是ハ領臺後臺灣軍ガ出征シタト云フコトハ初メテデアリマシテ、之ニ對シマシテ在留ノ内地人ハ心カラ熱誠ヲ以テ送り、又出征スル將兵モ欣ンデ死地ニ就ク、斯ウ云フ風ナ状態ヲ見テ、本島人ハ如何ニモ本當ノ日本人ノ精神ガアスコニ在ル、日本ノ姿ガソコニ現レタノダト云フヤウナコトヲ面ノアタリ見タコトハ、ドレ位本島人ニ對シテ日本精神ノ眞價ヲ示シタカト申上ゲテ宜イト思フノデアリマス、是等ノコトガ、如何ニ本島人モ日本人タルコトニ拍車ヲ掛ケタカト云フコトハ、今更言フ迄モナイコトト思ヒマスルガ、同時ニ又此ノ事變ニ依リマシテ、今日迄本島人ガ出征致シマシタモノハ、軍夫トシテ或ハ通譯トシテ、農業義勇團トシテ若シクハ沖仲仕トシテ、非常ニ多數ナ者ガ參ッテ居リマス

○委員長(子爵西尾忠方君) 速記ヲ止メテ……

○政府委員(森岡二朗君) 是等ノ多數ノ者ガ出征致シマシタ際ニハ、矢張り我々ガ内地ニ於テ出征スル將兵ヲ驛頭ニ於テソレヲ送ルガ如キヤウナ熱誠ヲ以テ、本島人モ亦之ヲ送リマシタノデアリマシテ、其ノ送ル者モ亦送ラレル者モ、内地ノ將兵トソレヲ

内地人ガ送ルノト、其ノ心構ヘニハ少シモ變リノナイ意氣ヲ示シテ居ルノデアリマス、是等多數ノ者ガ戰地ヘ參リマシテソレノ御奉公申上ゲ、軍夫トシテ、或ハ農業義勇團トシテ非常ニ御奉公申上ゲマシタコトハ、戰地ニ於ケル直接關係サレマシタ部隊長カラ非常ニ御褒メノ御言葉モ戴イテ居ルノデアリマシテ、又是等ノ者ノ中カラ相當數ノ戰死者モアリマシタ、此ノ中ニハ既ニ有難キ御恩賞ニ與ッテ居ル者モ多數アリマスガ、斯ウ云フヤウニ戰地ニ參リ親シク日本軍ノ忠勇ナル狀況、又支那ノ敗戰國ノ慘サヲ見其ノコトヲ故郷ニ通信シ、或ハ歸還シタ場合ニ申シ傳ヘルコトニ依リマシテ、日本人デアルコトノ有難サ、日本人デアルコトノ誇リト云フコトヲ痛感シタ譯デアリマス、一面島内ニ於キマシテハ、先ニ拓務大臣カラモ御話モゴザイマシタヤウニ、皇民化運動ニ拍車ヲ掛ケマシテ、更ニ一層日本人タラシムルベク努メテ居ルノデアリマスガ、此ノ事變ノ認識ガ深メラレマス同時ニ、更ニ日本人タルベク努メテ居ル譯デアリマシテ、此ノ事變ニ對シテ認識致シテ參リマスト共ニ、彼等ガ御奉公致シマスル方面ガ益、其ノ度ガ高マツテ參ル譯デアリマシテ、數字の其ニ申上ゲマスレバ、此ノ一昨年ノ六月カラ金ノ買上運動ヲ致シマシタノガ、昨年末一年半、一年カ一年半ノ間ニ七千二百萬圓ニ達シテ居リマス、又事變後二年有餘ノ間ニ於キマシテ、國防獻金或ハ恤兵慰問金等ノ總計ガ、アノ小サイ所デ八百五十萬圓ニ達シテ居リマス、其ノ中ニハ高砂族ノ獻金モゴザイマス、ヲカシナ話デスガ、在留支那人カラモ二三萬圓獻金シテ居リマス、斯ウ云フ風ニ本島人ガ金ノ買上運動ノ國策

ニ應ジテソレダケノコトヲシ、又皇軍ノ慰問ヲ致シテ居リマス云フコトハ、此ノ事變ニ對スル本島人ノ深キ認識、サウシテ日本人デアレバク努メテ居ル、日本人デアレコトノ誇ヲ示シテ居ルモノト申上ガテ宜イト思フノデアリマス、右申シマシタヤウナ情勢デゴザイマスノデ、島内ニ於ケル治安ノ狀況ハ今日何等憂フベキ狀態デハナイノデアリマシテ、今日ノ島民ノ、本島人ノ狀況ハ非常ニ眞劍サヲ以テ此ノ事變ニ對シ、我々モ日本人トシテ御奉公ヲ致サナケレバナラナイト云フ深キ決意ノ下ニ、ソレノ其ノ生業ニ努メテ居ル次第デアリマス、デ當初申上ガマシタ如キ或ハ流言蜚語、或ハ事變ノ起リマシタ當時陰謀事件等ガアリマシタトハ言ヒナガラ、是ハ極ク一小部分ノモノデアリマシテ、殆ド全部ノ大多數ノ者ハ日本人ノ心構ヘヲ決シテ傷ケルモノデナイ、斯ウ考ヘルゾデアリマス、今日ニ於キマシテハ本島人ハ更ニ日本人タルベク努メテ居ル、島内ニ於キマシテハ懸念スベキヤウナ狀態ハナク、此ノ儘進ムコトトナレバ本島人ヲシテ更ニ良キ狀態ニナシ得ルコトト存ジテ居ル次第デアリマス

○男爵大藏公望君 序ニ二ツノコトヲ伺ヒタイノデスガ、私設鐵道補助法案ヲ拜見致シマシタガ、此ノ案デハ臺灣デハ僅カニ十數「キロ」シカナイヤウデアリマス、ソレナラバ朝鮮同様別段ニ補助ナント云フ字ハ使ハナイデ、寧ロ買収ナサッタ方ガ徹底シテ宜イノデナイカト云フ氣ガシマスガ、モウ一ツ伺ヒタイノハ「タツキリ」溪ノ金ノ問題デアリマス、其ノ後ノ狀況ヲ伺ヒタイ

○政府委員(森岡二朗君) 現在私設鐵道トシテ補助ヲ受ケテ居リマスノハ二線デゴザ

イマシテ、是ハ只今ノヤウナ風ノ極ク距離ノ短イノモゴザイマス、或ハ國有鐵道ノ代用線或ハ産業方面ニ必要ナ線路デアリマシテ、將來是ハドウ致シマシテモ國營トシテ然ルベキコトト思ッテ居リマスガ、唯今日尙其ノ時機ニ到達致シテ居リマセヌガ、大體サウ云フ風ニ進ミタイト云フヤウナ考ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ只今御話ノ「タツキリ」溪ノ砂金ノ關係デアリマスルガ、是ハ從來臺灣ニ於キマシテハ鑛床調査ト云フノヲ行ッテ居リマシタガ、殊ニ昭和十二年度ヨリ鑛床調査ノ豫算ヲ得マシタノデ、爾來調査致シテ居リマシタ結果、昨年ノ十月カラ十一月ニ掛ケマシテ、「タツキリ」溪ノ高位段丘ニハ砂礫層ノ砂金ノアルト云フコトヲ發見シタノデゴザイマス、御承知ノ通り從來臺灣ニアリマス砂金ハ河川或ハ海岸等ニアルモノデアリマシテ、山ノ中腹ノ何百「メートル」カノ上ノ方ニ砂金ノアルト云フコトハ、今日迄ハ考ヘラレナカッタ譯デアリマシテ、此ノ高位段丘ヲ發見致シマシタコトガ、技師トシテノ非常ナ功績ト申上ガテ宜イノデアリマシテ、世界的ニモ斯ウ云フノハ餘程珍ラシイモノダト云フコトヲ聞イテ居リマス、是ハ元々水ノ底、或ハ河底デアツタガ、其ノ水ガ流レ切ッテ了ッテ砂礫層ガ残り、サウシテ其處ニ砂金ガ生レルト斯ウ云フ風ナモノダサウデアリマス、デ昨年當初發見致シマシタノハ「タツキリ」溪デアリマスルガ、其ノ後斯ウ云フ風ナ砂金ノアル河筋ノ上流ニハ必ズ高位段丘砂礫層ガアルノデハナイカト云フコトデ、「タツキリ」溪以外ニ於テ、大濁水溪、大南澳溪、木瓜溪、此ノ四ツガ東部デアリマスガ、ソレカラ西部ノ方ノ濁水溪、此ノ五ツノ河ノ上流ヲ調べテ見マシタ所ガ、

「タツキリ」溪ト同ジヤウナ風ノ斷層ハアリマスルガ、高位段丘ガ發見サレマシタ、其ノ高位段丘ノ數ハ百十バカリデアリマシテ、總面積ニシテ二百六十萬坪餘デアリマス、其ノ砂金ヲ發見致シマシテ、ドレ位ノ含有ガサレテ居ルカト云フコトハ、是ハハッキリ致シマセヌガ、併シ極ク試験的ニソレノ段丘ニ於テ調べテ見テ、是ハ極ク大マカナ調べ方デアリマスガ、多イ所ハ一立坪ニ二十「グラム」、少イ所デ二「グラム」半乃至三「グラム」位ノ所モアルヤウデアリマス、先ヅ二十「グラム」モアルト云フヤウナ所ハ、是ハ「バケツ」ニ五六杯砂ヲ取ッテ來テ調べテ見テ、サウシテ一立坪ヲ換算シタノデアリマスガ、其ノ通り行クト云フコトハ申サレナイコトハ勿論デアリマス、又相當含有量ガ、埋藏量ガアルト云フヤウニ技師等ハ報告致シテ居リマス、デ現在ニ於キマシテ臺灣ニ於テハ、砂金ノ出マスル河ハ全體デアリマシテ、先申上ガマシタ五ツノ河川ヲ加ヘマシテ、三十九ノ河川ガ砂金ガ出ル譯デアリマス、ソレデ今後本年度及十五年度ニ於キマシテ、全部ノ河川ノ上流ニ於ケル高位段丘ノ調ヲ致シテ居リマス、サウシテ只今追加豫算トシテ要求致シツ、アル其ノ調査ト、而シテ數箇所ノ、今日迄發見致シマシタ中ノ數箇所ヲ、本格的ニ試掘探鑛ヲ致シタイ、サウシテソレニ依ッテソレノ埋藏量ヲ見テ、如何ナル形式ニ於テ、ドウ云フ「スケール」ヲ經營スルガ宜イカト云フコトヲ決メタイト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、近ク豫算ヲ提出サレルコトト存ジテ居リマスノデ、只今ハ右申シマシタヤウナ狀況デアリマシテ、從ッテドレ位全島ニ砂金ガアルカ、何億アルカ、何十億アルカト云フコトハマアチヨット

只今ハ豫想出來ナイ譯デアリマシテ、技師ノ言ニ依レバ相當確信ヲ持ッテ居リマスヤウナ次第デアリマス、大體御了承願ヒマス

○委員長(子爵西尾忠方君) 御諮リ致シマス、時間デゴザイマスカラ午前ハ此ノ程度ニ致シマシテ、午後本日本大藏大臣ノ御出席ヲ願ヒタイト思ヒマシタガ、本日午後ドウシテモ衆議院ノ關係デオイデニナラナイト云フコトデアリマスカラ、御異議ナケレバ本日ハ是ニテ散會致シタイト存ジマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(西尾忠方君) 次會ハ何レ政府ノ御出席ノ點ヲ能ク御交渉致シマシテ、彙報ヲ以テ御通知ヲ致シタイト存ジマス、本日は是デ散會致シマス

午後零時一分散會

出席者左ノ如シ

- 委員長 子爵西尾 忠方君
- 副委員長 男爵東郷 安君
- 委員 公爵鷹司 信輔君
- 侯爵池田 宣政君
- 子爵梅小路 定行君
- 子爵綾小路 護君
- 男爵大藏 公望君
- 男爵水谷川 忠麿君
- 西野 元君
- 土方 久徵君
- 堀 啓次郎君
- 吉村友之進君
- 野村 徳七君
- 風間八左衛門君
- 米原 章三君

國務大臣 拓務大臣 小磯 國昭君

政府委員

大藏政務次官	木村 正義君
大藏省理財局長	相田 岩夫君
大藏省銀行局長	入間野武雄君
大藏書記官	前田 克巳君
營繕管財局理事	松隈 秀雄君
陸軍主計大佐	森田 親三君
拓務參與官 男爵加藤	成之君
拓務省管理局長	副島 勝君
拓務省殖産局長	植場 鐵三君
拓務書記官	森重 千夫君
朝鮮總督府政務總監	大野絲一郎君
朝鮮總督府財務局長	水田 直昌君
朝鮮總督府鐵道局長	山田新十郎君
臺灣總督府總務長官	森岡 二郎君
臺灣總督府財務局長	中嶋 一郎君
保險院總務局長	佐藤 基君

昭和十五年三月十三日印刷

昭和十五年三月十四日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局